

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	学部設置							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン カンサイガイコクゴダイガク 学校法人 関西外国語大学							
フリガナ大学の名称	カンサイガイコクゴダイガク 関西外国語大学 (Kansai Gaidai University)							
大学本部の位置	大阪府枚方市中宮東之町16番1号							
大学の目的	建学の理念に則り、公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応じていく実学の教授研究を通して、国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	海外で博士号を取得した外国人教員を中心とした国際通用性の高い専門教育と全授業科目オールイングリッシュ履修による学修や、主に欧米の海外協定先大学からの外国人留学生と肩を並べた共同学修を通じて、高度な英語実践力、異文化理解力、主体性を基盤とする地球市民としての資質や能力を養成することにより、予測困難な多文化共生時代において新たな価値を創造する人材の育成を目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	国際共生学部 (College of Global Engagement)	年	人	年次人	人		年月 第 年次	大阪府枚方市中宮東之町16番1号
	国際共生学科 (School of Global Engagement)	4	70	3年次 30	340	学士 (国際共生)	令和5年4月 第1年次 令和5年9月 第3年次	
計		70	3年次 30	340				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>令和4年4月 収容定員の変更に係る学則変更届出予定 英語キャリア学部 (令和4年4月届出予定) 英語キャリア学科小学校教員コース〔定員増〕 (20) (令和5年4月)</p> <p>外国語学部 英米語学科〔定員減〕 (△305) (令和5年4月)</p> <p>令和4年4月 学科の設置届出予定 外国語学部 英語・デジタルコミュニケーション学科 (200) (令和5年4月)</p>							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	国際共生学部国際共生学科	52科目	18科目	12科目	82科目	124単位		

教員	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		
組	新設	国際共生学部 国際共生学科	人	人	人	人	人	人	人
						7 (7)	4 (4)	6 (6)	0 (0)
		外国語学部 英語・デジタルコミュニケーション学科	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	59 (15)
		計	14 (14)	7 (7)	8 (8)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	- (-)
		英語キャリア学部 英語キャリア学科	7 (7)	5 (5)	9 (9)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	27 (29)
		英語キャリア学科小学校教員コース	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	6 (6)
		外国語学部 英米語学科	49 (49)	45 (45)	30 (30)	9 (9)	133 (133)	0 (0)	146 (165)
		スペイン語学科	10 (10)	8 (8)	5 (5)	3 (3)	26 (26)	0 (0)	27 (27)
		英語国際学部 英語国際学科	22 (22)	22 (22)	5 (5)	3 (3)	52 (52)	0 (0)	49 (50)
		計	96 (96)	82 (82)	49 (49)	15 (15)	242 (242)	0 (0)	- (-)
		合計	110 (110)	89 (89)	57 (57)	15 (15)	271 (271)	0 (0)	- (-)
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		職員については、併設短期大学部と共通
	事務職員		150人 (150)		29人 (29)		179人 (179)		
	技術職員		0 (0)		15 (15)		15 (15)		
	図書館専門職員		8 (8)		19 (19)		27 (27)		
	その他の職員		0 (0)		140 (140)		140 (140)		
	計		158 (158)		203 (203)		361 (361)		
校地等	区分	専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学短期大学部（必要面積16,000㎡）
	校舎敷地	0㎡	160822.61㎡		0㎡		160822.61㎡		
	運動場用地	0㎡	71965.08㎡		0㎡		71965.08㎡		
	小計	0㎡	232787.69㎡		0㎡		232787.69㎡		
	その他	0㎡	8733.22㎡		0㎡		8733.22㎡		
	合計	0㎡	474308.60㎡		0㎡		474308.60㎡		
校舎		専用	共用		共用する他の学校等の専用		計		中宮キャンパス全体 共用は関西外国語大学短期大学部（必要面積7,650㎡）
		21,237.34㎡ (21,237.34㎡)	56,012.86㎡ (56,012.86㎡)		5,913.55㎡ (5,913.55㎡)		83,163.75㎡ (83,163.75㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		中宮キャンパス全体
	151室	93室	10室		7室 (補助職員 人)		5室 (補助職員 人)		
専任教員研究室		新設学部等の名称			室数				中宮キャンパス全体238室 うち空室27室
		国際共生学部 国際共生学科			17室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		大学全体 図書576,824[246,449] 雑誌2,841[818]
	国際共生学部 国際共生学科	105,500[32,500] (102,277[30,840])	500 [330] (463 [313])	30,000 [29,600] (27,763 [27,702])	6,500 (6,671)	400 (358)	0 (0)		
	計	105,500[32,500] (102,277[30,840])	500 [330] (463 [313])	30,000 [29,600] (27,763 [27,702])	6,500 (6,671)	400 (358)	0 (0)		

図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		[大学全体]		
	18,120 m ²		2,066 席		838,000				
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	14,453.63m ²		テニスコート		アーチェリー練習場		中宮キャンパス全体		
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	-	-	
	共同研究費等		2,500千円	2,500千円	2,500千円	2,500千円	-	-	
	図書購入費	1,000千円	500千円	500千円	500千円	500千円	-	-	
	設備購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,400千円	1,150千円	1,150千円	1,150千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、私立大学等経常経費補助金 等						
既設大学等の状況	大学の名称	関西外国語大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	英語キャリア学部 英語キャリア学科	4	120	-	480	学士 (英語キャリア)	0.94 0.95	平成25年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号
	英語キャリア学科 小学校教員コース	4	30	-	120	学士 (教育)	0.92	平成25年度	同上
	外国語学部 英米語学科	4	1170	3年次 300	5280	学士 (英語学)	1.00 1.01	昭和41年度	同上
	スペイン語学科	4	250	25	1050	学士 (スペイン語学)	0.97	昭和41年度	同上
	英語国際学部 英語国際学科	4	700	3年次 100	3000	学士 (英語国際)	1.00 1.00	平成26年度	大阪府枚方市御殿山南町6番1号
	外国語学研究所 博士前期課程 英語学専攻	2	15	-	30	修士(英語学) 修士(英語教育)	0.35 0.30	昭和48年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号
	言語文化専攻	2	20	-	40	修士(言語文化) 修士(日本語学) 修士(国際共生 コミュニケーション)	0.38	昭和51年度	同上
	博士後期課程 英語学専攻	3	3	-	9	博士(英語学) 博士(英語教育)	0.33 0.16	昭和54年度	同上
	言語文化専攻	3	3	-	9	博士(言語学) 博士(言語文化) 博士(日本語学) 博士(文化人類学) 博士(比較文化学)	0.50	昭和54年度	同上
	既設大学等の状況	大学の名称	関西外国語大学短期大学部						
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
英米語学科	2	800	-	1600	短期大学士 (英語学)	0.99	昭和28年度	大阪府枚方市中宮東之町16番1号	

附属施設の概要	名称 目的 所在地 設置年月 規模等	国際文化研究所 文化人類学に関する調査研究、特に各国の文化の比較研究を行い、世界諸民族の文化の友好親善に貢献することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 昭和47年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	
	名称 目的 所在地 設置年月 規模等	人権教育思想研究所 人権問題及び人権教育思想について研究調査し、基本的人権の確立に努めることを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成6年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	
	名称 目的 所在地 設置年月 規模等	教職教育センター 本学「教職課程」履修者を対象にした教員養成に係る支援活動および小・中・高等学校等との教育研究連携事業を通じた教育現場での諸課題の教育研究等により、幅広く学内外の教育政策・事業全般の推進に貢献することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成15年9月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの1階の一部を使用	
	名称 目的 所在地 設置年月 規模等	イベロアメリカ研究センター スペイン、ポルトガルならびにラテンアメリカを対象とする研究を行い、実践的な外国語能力と国際社会に通用する知識と情報を学内外に供することを目的とする。 大阪府枚方市中宮東之町16番1号 平成22年4月 インターナショナル・コミュニケーション・センターの4階の一部を使用	

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要															
(国際共生学部国際共生学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門必修科目	[English for Global Citizens 科目群]														
	Academic Writing I	1前	4					○							
	Academic Writing II	1後	4					○							
	Integrated Language Skills	1前	4					○						兼1	
	Interpersonal Communication	1後	4					○							
	Global Communication I	1前	4					○							
	Global Communication II	1後	4					○							
	Language & Society	2前	4					○							
	Diversity & Equality in Contemporary Literature	2後	4					○							
小計 (8科目)	—	32	0	0			—		0	0	5	0	0	兼1	
専門選択必修科目	Digital Literacy I	1前	4					○							
	Digital Literacy II	1後	4					○							
	Foundation for Global Engagement A	2前・後		4				○		1				※1	
	Foundation for Global Engagement B	2前・後		4				○		1				※1	
	Foundation for Global Engagement C	2前・後		4				○			1			※1	
	Capstone A	4後		4				○		1				※2	
	Capstone B	4後		4				○		1				※2	
	Capstone C	4後		4				○		1				※2	
小計 (8科目)	—	8	24	0			—		4	2	0	0	0	兼0	
専門選択科目	[Humanities 科目群]														
	Survey in Literature I	1後・2前		4				○		1					
	History of Asia I	1後・2前		4				○			1				
	Topics in Art I	1後・2前		4				○						兼1	
	Survey in Literature II	2前・後		4				○		1				兼1	
	Art Across Cultures	2前・後		4				○						兼1	
	Intercultural Communication	2前・後		4				○			1				
	Topics in Literature	3前・後		4				○		1					
	Japanese Literature	3前・後		4				○						兼1	
	History of Asia II	3前・後		4				○			1				
	Topics in History	3前・後		4				○			1				
	Topics in Art II	3前・後		4				○						兼1	
	Media and Culture A	3前・後		4				○						兼1	
	Media and Culture B	3前・後		4				○						兼1	
	Religion and Philosophy	3前・後		4				○			1				
	Seminar in Philosophy	3前・後		4				○			1				
	Seminar in Religion	3前・後		4				○			1				
	Japanese	1前・後		6					○			1			
	Japanese Reading & Writing	1前・後		4					○			1			
	[Social Sciences 科目群]														
	Survey in International Politics	1後・2前		4					○		1				
	Introduction to Cultural Anthropology	1後・2前		4					○						兼1
	Survey in Sociology	1後・2前		4					○		1				
	Foreign Policy	2前・後		4					○						兼1
	International Politics	2前・後		4					○						兼1
	Global Service Learning	2前・後		4					○			1			
	Comparative Politics I	2前・後		4					○						兼1
	Global Diplomacy and Asia	3前・後		4					○		1				
	History of International Politics	3前・後		4					○		1				
Cultural Anthropology	3前・後		4					○						兼1	
Topics in Sociology	3前・後		4					○						兼1	
Comparative Politics II	3前・後		4					○						兼1	
Globalization and Identity	3前・後		4					○						兼1	
International Organizations	3前・後		4					○		1					
Sustainable Development A	3前・後		4					○		1					

教 育 課 程 等 の 概 要

(国際共生学部国際共生学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 選 択 科 目	Sustainable Development B	3前・後		4		○			1							
	Comparative Cultures	3前・後		4		○			1							
	[Business & Economics 科目群]															
	Introduction to Marketing	1後・2前		4		○										兼1
	Introduction to Microeconomics	1後・2前		4		○										兼1
	Introduction to Macroeconomics	1後・2前		4		○			1							
	Principles of Business	2前・後		4		○										兼1
	Global Economics	2前・後		4		○			1							
	Economic Development I	2前・後		4		○										兼1
	Global Marketing	3前・後		4		○										兼1
	Economic Development II	3前・後		4		○			1							
	Global Management	3前・後		4		○			1							
	Topics in Management	3前・後		4		○										兼1
	International Business	3前・後		4		○			1							
	Topics in Japanese Business	3前・後		4		○			1							
	International Negotiation	3前・後		4		○										兼1
	Global Leadership	3前・後		4		○			1							
	[Global Issues 科目群]															
	Global Issues A	2前・後		4		○			1							※3
	Global Issues B	2前・後		4		○										兼1 ※3
	Global Issues C	2前・後		4		○										兼1 ※3
	Global Issues D	2前・後		4		○										兼1 ※3
	Global Issues E	2前・後		4		○										兼1 ※3
	[Experiential Learning 科目群]															
	Global Internship A	1・2・3前・後		1					○	1						※4
	Global Internship B	1・2・3前・後		2					○	1						※4
	Global Internship C	1・2・3前・後		2					○	1						※4
	Global Internship D	1・2・3前・後		5					○	1						※4
	Community Engagement A	1・2・3前・後		1					○	1						※4
	Community Engagement B	1・2・3前・後		2					○	1						※4
Community Engagement C	1・2・3前・後		2					○	1						※4	
Community Engagement D	1・2・3前・後		5					○	1						※4	
Global Service Learning A	1・2・3前・後		1					○		1					※4	
Global Service Learning B	1・2・3前・後		2					○		1					※4	
Global Service Learning C	1・2・3前・後		2					○		1					※4	
Global Service Learning D	1・2・3前・後		5					○		1					※4	
小計 (66科目)		—	0	248	0			—	7	3	1	0	0	兼14		

合計 (82科目)

学位又は称号	学士 (国際共生)	学位又は学科の分野	文学関係、経済学関係
--------	-----------	-----------	------------

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

専門教育科目 専門必修科目 32単位 専門選択必修科目 20単位 専門選択科目 72単位 「Humanities科目群」「Social Sciences科目群」「Business & Economics科目群」の各群から8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限：各セメスター間24単位)	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

備考※1：「Foundation for Global Engagement A～C」のうち2科目を修得しなければならない。

備考※2：「Capstone A～C」のうち1科目を修得しなければならない。

備考※3：留学準備教育のための授業・留学中の学修等について単位認定を行う科目。

備考※4：国内外のインターンシップ、ボランティア、サービスマーケティング活動における学修 (事前・事後指導含む) 等について単位認定を行う科目。

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 必 修 科 目	Academic Writing I	<p>This course provides intensive writing instruction for developing clear and well-organized academic essays. Students learn to use the writing process, including planning, organizing, developing, revising, and editing. Students also focus on developing fundamental writing skills, such as correct sentence structure, grammar, and punctuation.</p> <p>本科目は、効果的な英文作成の導入科目として位置づけられる。英語で小論文を作成するための手法を計画から編集まで体系的に学ぶことを目的とし、正しい文章構成、文法、句読点などの基礎の他、自身の考えを明確に伝えるための表現や語彙のスキルを身につけることを目標とする。</p>	
	Academic Writing II	<p>Academic Writing II is an intensive writing course that builds on the skills taught in Academic Writing I. In this course, students learn strategies for writing a research paper, including how to find a topic, conduct library research, evaluate information, and cite sources. Students also read academic texts to practice summarizing, paraphrasing, analyzing and synthesizing information from various sources.</p> <p>本科目は、Academic Writing Iで培った英文作成の基礎力をベースにした発展的な科目として位置づけられる。トピックの設定の方法及び図書館でのリサーチ方法並びに情報の精査や、文献の引用など、研究論文を書くための手法を学ぶ。また、学術的な文献を用いて情報を要約、言い換え、分析などを通じて、論述力の向上に取り組む。</p>	
	Integrated Language Skills	<p>This course is designed to prepare students for the specialized courses they will take from their second year. The goal of this course is to help students acquire the ability to read and understand the meaning of words accurately and in context, using both academic literature and familiar English materials dealing with contemporary topics. The course also aims to develop the response, critical thinking, and logical thinking skills needed to respond to lectures and class discussions in a variety of formats.</p> <p>本科目は、2年次から履修する専門科目に向けた実力養成を目的とする科目である。学術的な文献や現代的なトピックを扱った身近な英文資料を題材として、文脈を踏まえた正確な語義の理解力や読解力を身につけることを目標とする。また、様々な形態での講義やクラスディスカッションに対応するための応答能力や、批判的思考力、論理的思考力を習得する。</p>	
	Interpersonal Communication	<p>This course builds on the skills learned in Integrated Language Skills. Students will study topics in face-to-face communication, in both personal and non-personal relationships, and learn and practice ways to maximize communicative clarity and effectiveness.</p> <p>本科目は、Integrated Language Skillsで培ったスキルを基に、コミュニケーションの場における実践的な練習を通じ、個人間又はグループ間での対面コミュニケーションにおける論理的かつ分かり易い意見の示し方や感情表現など、より実用的なコミュニケーション手法を習得することを目標とする。</p>	
	Global Communication I	<p>This course builds listening, speaking, and presentation skills by exploring the basic foundations of international organizations. Through various hands-on, projected-based tasks, students learn to investigate, understand, and critically assess global issues, such as clean energy, conflict resolution, human rights, consumption, and international economic development.</p> <p>本科目は、国際組織の基本的な知識を身につけながら、リスニング、スピーキング、プレゼンテーション力を向上させることを目標とする。具体的には、クリーンエネルギー、紛争解決、人権、消費、国際的な経済発展などの地球規模の問題を調査し、理解し、評価する方法を、様々な実践的な課題と照らし合わせながら学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門必修科目	Global Communication II	<p>This hands-on, project-based course continues building on the listening, speaking, and presentation skills introduced in Global Communication I. In this course, students focus on proposing and debating solutions to overcome the challenges facing the international community. Students work in teams to conduct research, participate in simulations, debates, and presentations.</p> <p>本科目は、Global Communication Iの発展科目として位置づけられる。プロジェクトベースドラニングの手法を用いて実施される本科目では、グループでのリサーチやシミュレーション、ディベート、プレゼンテーションなど、実社会を想定した体験学習を通して、社会が抱える課題について考察、議論を行い、知識力と実践的な英語力の向上を図る。</p>	
	Language & Society	<p>This course builds on reading and writing skills by examining the intersection of language and culture and its influence on different social structures. Students learn to communicate with a variety of audiences, including professional and academic, through written, oral, and visual methods.</p> <p>本科目は、言語と文化が様々な社会構造に与える影響を主たるテーマとした議論を通じ、知的理解を深めるとともに、文章、口語、視覚的な手法を用いて学術的、専門的なリーディングとライティングなどの実践的なスキル向上を図る。</p>	
	Diversity & Equality in Contemporary Literature	<p>In this course, students read short stories and novel excerpts to explore themes in diversity and equality. Topics include race and ethnicity, gender and gender identity, sexual orientation, socioeconomic status, disability status, language, culture, and political perspective.</p> <p>本科目は、多様性や平等性をテーマとした短編小説や論文を含む複数の文献を閲読し、人種や民族、ジェンダー、性的指向、障害の有無、言語、文化など多文化社会における諸課題に関する自己の考察をまとめ、議論を行うことを通じて知的理解を深めるとともに、実社会で使える英語力の習得を図る。</p>	
専門選択必修科目	Digital Literacy I	<p>The purpose of this course is to equip students with the skills necessary to be successful in the digital world and their future careers. Students focus on topics such as digital literacy, internet technology, social media technology, multimedia, digital safety, and security.</p> <p>本科目は、デジタル化が加速する社会に不可欠となる知識やスキルを身につけることを目標とする。デジタルリテラシー、インターネット技術、ソーシャルメディア技術、マルチメディア、デジタルセーフティ、セキュリティなど、どのようなキャリアにおいても必要となるデジタルリテラシーを身につけることを目標とする。</p>	
	Digital Literacy II	<p>In this course, students continue building on the skills introduced in Digital Literacy I. This course is primarily a hands-on learning experience, and the skills are basic and practical. Students will learn to use productivity tools from different platforms, including multimedia and website development tools, and Web 2.0 tools.</p> <p>本科目は、Digital Literacy Iで習得したデジタルリテラシーを発展的に向上させることを目標とする。具体的には、マルチメディアやウェブサイト開発ツール、Web 2.0ツールなど、さまざまなプラットフォームの生産性向上ツールの使い方を学び、実際に活用しながら応用力を強化することを目標とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 必 修 科 目	Foundation for Global Engagement A	<p>This course is positioned as an introductory course for global engagement. The goal is to learn the basic concepts and elements for individual exploration and development, and lectures will be given using methods based on group coaching. The course also aims to make university life more meaningful by helping each student to confront his or her own life, not only after graduation, but also from a long-term perspective, and to think about "who I am," "why I study," and "what kind of person I want to be in a multicultural society,"</p> <p>本科目は、国際共生のための導入科目として位置づけられる。個の探求と進捗のための基礎となる考え方や要素を理解することを目標とし、グループコーチングを基にした手法を用いた講義を行う。また、卒業後のキャリアのみならず、長期的な視点で人生を捉え、個々の学生が自分自身と向き合うことで「自分は一体何者なのか」「なぜ学ぶのか」「多文化社会において自分はどのような存在になりたいのか」等を考え、大学生活をより有意義に過ごすための気づきを得ることを目標とする。</p>	
	Foundation for Global Engagement B	<p>This course is positioned as an introductory course for global engagement. With the aim of discussing Japanese history from a global perspective, the course will focus on and analyze the turning points in Japanese history that brought about major changes in Japanese society. Students are also expected to examine the economic, social, political, ideological, and foreign policy aspects of each turning point period, and how these factors have shaped Japanese history and led to the present day.</p> <p>本科目は、国際共生のための導入科目として位置づけられる。日本の歴史を世界的視野で議論し、日本社会に大きな変化をもたらした日本史のターニングポイントとなる時代を取り上げ、時代の経済、社会、政治、イデオロギー、外交政策の側面を検証し、これらの要因がどのように日本の歴史を形成し現代に結びついているかを学修する。</p>	
	Foundation for Global Engagement C	<p>This course is positioned as an introductory course for global engagement. Focusing on "pilgrimage" to sacred places as a form of human spiritual expression, this course aims to examine from various angles how pilgrimage has influenced social economy and culture by using novels, films, academic papers, and diaries. Students will also explore pilgrimage traditions and sacred sites and engage in practical research from a literary perspective. Moreover, Japanese culture will be examined and discussed based on the theme of pilgrimage beyond religious traditions.</p> <p>本科目は、国際共生のための導入科目として位置づけられる。人間の精神表現の一つである、聖地に赴く「巡礼」に焦点を当て関連する小説、映画、学術論文、日記などを用いて、「巡礼」が単なる宗教的な伝統を超越し、どのように日本社会・経済や文化に影響をもたらしてきたか、多角的に学修する。また、各自で選択した調査方法を用いて「巡礼」の伝統や神聖な場所を探索し、文学的な視点に立って実践的な研究に取り組む。</p>	
	Capstone A	<p>This course is positioned as a culmination of what students have studied with the aim to enhance expertise and acquire practical and application skills based on the knowledge related to humanities and hands-on experience. In this project-based course, each student sets his or her own theme, perceives social issues from multiple perspectives, explores solutions, and presents the results of his or her studies. Through this course, students are expected to gain awareness of their own career development and consider how to engage in a multicultural society.</p> <p>本科目は、これまでに習得した人文科学系の知識や実体験をもとに、より専門性を高め、実践・運用面での応用力の習得を目標とし、学びの集大成の科目として位置づけられる。各自がテーマを設定し、社会が抱える課題を複数の観点から捉え、解決策を探り、発表をすることで、学修成果を「かたち」に仕上げていくプロジェクト型の講義である。本講義を通して、自らのキャリア形成への意識を高め、多文化社会におけるかかわり方についても考察する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門選択必修科目	Capstone B	<p>This course is positioned as a culmination of what students have studied with the aim to enhance expertise and acquire practical and application skills based on the knowledge related to social sciences and hands-on experience. In this project-based course, each student sets his or her own theme, perceives social issues from multiple perspectives, explores solutions, and presents the results of his or her studies. Through this course, students are expected to gain awareness of their own career development and consider how to engage in a multicultural society.</p> <p>本科目は、これまでに習得した社会科学系の知識や実体験をもとに、より専門性を高め、実践・運用面での応用力の習得を目標とし、学びの集大成の科目として位置づけられる。各自がテーマを設定し、社会が抱える課題を複数の観点から捉え、解決策を探り、発表をすることで、学修成果を「かたち」に仕上げていくプロジェクト型の講義である。本講義を通して、自らのキャリア形成への意識を高め、多文化社会におけるかかわり方についても考察する。</p>	
	Capstone C	<p>This course is positioned as a culmination of what students have studied with aim to enhance expertise and acquire practical and application skills based on the business and economics knowledge and hands-on experience. In this project-based course, each student sets his or her own theme, perceives social issues from multiple perspectives, explores solutions, and presents the results of his or her studies. Through this course, students are expected to gain awareness of their own career development and consider how to engage in a multicultural society.</p> <p>本科目は、これまでに習得したビジネス・経済学系の知識や実体験をもとに、より専門性を高め、実践・運用面での応用力の習得を目標とし、学びの集大成の科目として位置づけられる。各自がテーマを設定し、社会が抱える課題を複数の観点から捉え、解決策を探り、発表をすることで、学修成果を「かたち」に仕上げていくプロジェクト型の講義である。本講義を通して、自らのキャリア形成への意識を高め、多文化社会におけるかかわり方についても考察する。</p>	
専門選択科目	Humanities Survey in Literature I	<p>The goal of this course is to study theater and literature in Asia. Specifically, the course will discuss variations on themes and different performance styles in theater and literature under the theme of "how to position and perform theatrical literature in a certain public space. The course will also examine how Asian imagery and themes of "Asianness" have been manipulated and consumed in contemporary (Western) theater, musicals, and other forms of popular culture, and learn to what extent literature and theater can become cross-cultural and ethnographic representations.</p> <p>本科目は、アジアの演劇や文学について学ぶ。演劇や文学におけるテーマのバリエーションや異なるパフォーマンスのスタイルについて議論をする。また、アジアのイメージや「アジア的なもの」というテーマが、現代の(欧米の)演劇やミュージカルなどの大衆文化の中で、どのように演出され、大衆化されてきたかを検証し、文学や演劇がどの程度、異文化や民俗学的な表現になりうるかについても学修する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門選択科目	H u m a n i t i e s 科 目 群	History of Asia I The goal of this course is to study the history of societies and cultures in Asia. Focusing on the interactions among Asian societies and "globalization," the course will enhance students' understanding of the history of East Asia, Southeast Asia, South Asia, and Central Asia and the impact of globalization on them. The course will also discuss European and Western colonization and the rise of empires in Asia. The following items will also be covered: the transition of Asian societies to modernity, industrialization and economic change, decolonization and nationalism in Asia, war and conflict, and socio-political and economic developments after World War II. 本科目は、アジアの社会や文化の歴史を学ぶ。アジア社会間の相互作用と、「グローバル化」に焦点を当て、アジア地域の歴史と、グローバル化が与えた影響についての理解を深めることを目標とする。また、アジアにおけるヨーロッパや西洋の植民地化の取組や帝国の台頭、アジア社会の近代化への移行、工業化と経済の変化、アジアにおける脱植民地化とナショナリズム、戦争と紛争、第二次世界大戦後の社会政治的・経済的發展などについても学修する。	
		Topics in Art I The goal of this course is to provide students with a basic knowledge of traditional Japanese aesthetics, culture, and society. A wide range of design examples reflecting social, political, and economic culture will be examined, and contemporary design will also be discussed in terms of the following perspectives: Japanese aesthetics and prewar, the emergence of design, pop culture, and disaster. Through lectures, discussions, presentations, and museum visits, students will also learn how traditional Japanese aesthetics are reflected in contemporary design and how Japanese designers have uniquely expressed traditional aesthetics in an international style. 本科目は、日本の伝統的な美学、文化、社会の基礎知識を身につけることを目標とする。日本の美意識と戦前のデザインの探求や、デザインの実現、「メイド・イン・ジャパン」、「ポップカルチャー」、「災害とデザイン」などの観点で現代のデザインを議論する。また、講義、ディスカッション、プレゼンテーション、美術館訪問などを通して、日本の伝統的な美意識がどのように現代のデザインに反映されているか、日本のデザイナーがどのようにして伝統的な美意識を国際的なスタイルにユニークに表現したかについて学ぶ。	
		Survey in Literature II This course is positioned as an advanced course of Survey in Literature I. Students will learn photography, music, and film from East Asia, including Japan, Korea, China, and Hong Kong by looking at literature. Another goal is to discuss the process of globalization in these regions to learn how cultural productions, such as literature and art, relate to our living environment and how they shape social memory, traditional Asian values, gender roles, nationalism, and historical trauma. 本科目は、Survey in Literature Iの発展科目として位置づけられる。日本、韓国、中国、香港などの東アジアの文学、写真、音楽、映画を通して、これらの地域における集中的なグローバル化のプロセスと、現在急速に拡大しているアジア間の文化の流れについて理解することを目標とする。文学や芸術などの文化的生産物がどのように私たちの生活環境と関連しているか、どのように社会的記憶、伝統的なアジアの価値観、ジェンダー、ナショナリズム、歴史的トラウマを形成しているのかを学ぶ。	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	H u m a n i t i e s 科 目 群	Art Across Cultures	<p>The goal of this course is to examine Japanese art and explore how Japanese art and aesthetics influenced Western art and design. Specifically, students will discuss how Japanese art had a significant influence on Western art and design in the development of modern art and design, including Impressionism, Aestheticism, Art Nouveau, and Art Deco.</p> <p>日本と西洋の貿易は16世紀後半に始まり、世紀末にはジャポニズムへと発展した。本科目では、日本の芸術を学修し、日本の芸術や美学が西洋の芸術やデザインにどのような影響を与えたかを理解することを目標とする。具体的には、印象派、耽美派、アール・ヌーヴォー、アール・デコなどの近代美術やデザインにおける日本美術の影響や発展について学ぶ。</p>	
		Intercultural Communication	<p>The goal of this course is to study theory and research in the field of intercultural communication as applied to the Japanese context. It focuses on perceptions, behaviors, values, and cultural patterns of human interaction, thereby providing students with a clearer understanding of their own communicative perspectives as they relate to life in Japan. In addition, the course will utilize a variety of active learning techniques such as class discussion, group work, lectures, video critiques, storytelling, critical incidents, and reflection to develop practical cross-cultural communication skills.</p> <p>本科目は、異文化間コミュニケーションの分野における理論と研究について学ぶ。人間同士の交流における認識、行動、価値観、文化的パターンに焦点を当て、それによって学生が日本での生活に関連した自分自身のコミュニケーションの視点をより明確に理解することを目標とする。さらに、クラスディスカッション、グループワーク、レクチャー、ビデオ評論、ストーリーテリング、クリティカルインシデント、リフレクションなど、さまざまなアクティブラーニングの手法を活用し、実践的な異文化コミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p>	
		Topics in Literature	<p>This course looks at various forms of urban culture in contemporary Asian societies (novels, musicals, films, sporting events, the current K-pop fandom and related boy bands and girl groups, to name a few) to examine how people are experiencing patterns of cultural expression that cannot easily be reduced to a single narrative.</p> <p>アジア社会の都市文化は、多層的で複雑である。グローバル化の影響やデジタル技術の進捗により、東アジアの文化市場が活性化し、汎アジア的な大衆文化が各地で活発に創出されている現在、アジア都市文化はアジア社会に様々な影響を与えている。本科目は、現代アジア社会における都市文化の様々な形態（小説、ミュージカル、映画、スポーツイベント、K-POPファンダムや関連するボーイズバンドやガールズグループの例など）を単一の物語に還元することが容易ではない文学表現のパターンについて人々がどのように経験しているかについて学修する。</p>	
		Japanese Literature	<p>This course is positioned as an advanced course of Topics in Literature. The goal is to discover the beauty of Japanese literature and to analyze literary works from each period of Japanese history. Specifically, the course will be divided into five sections (Ancient, Classical, Medieval, Modern, and Postmodern) to study their characteristics and focus on and discuss representative works from each period.</p> <p>本科目は、Topics in Literatureの発展科目として位置づけられる。日本文学の美しさを発見し日本史の各時代の文学作品を分析できるようになることを目標とする。具体的には、古代、古典、中世、近代、ポストモダンの5つのセクションに分けてそれらの特徴を学び、各時代の代表的な作品に焦点を当て、議論を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	H u m a n i t i e s 科 目 群	History of Asia II	<p>This course is positioned as an advanced course of History of Asia I. The goal of this course is to provide a broad overview of the political, economic, social, and cultural development of Japan. Students will learn about the rise and fall of the Shogunate, the opening of Japan to the outside world, economic and technological development under the Meiji government, the Taisho and Showa crises, wars, and the postwar economic "miracle" events. The course also aims to enable students to understand modern Japanese history in the context of world history from multiple perspectives by analyzing and effectively discussing complex issues related to modern Japanese history.</p> <p>本科目は、History of Asia Iの発展科目として位置づけられる。日本の政治、経済、社会、文化の発展について幅広く学ぶ。江戸幕府の興亡、開国、明治政府の下での経済・技術の発展や、大正・昭和の危機、戦争、戦後の経済の「奇跡」とよばれる出来事について学ぶ。また、近代日本の歴史に関する複雑な問題を分析し、効果的な議論を行うことで、世界史における近代日本の歴史を多角的な視点に立って理解できるようになることを目標とする。</p>	
		Topics in History	<p>The goal of this course is to learn how historical films portray the past, how they can be historically accurate, and the extent to which they present opinions and interpretations of the past. The course will also include an analysis of various films depicting the history of Asia in the 20th century in terms of its time and place, as well as a discussion of cinematic representation.</p> <p>本科目は、映画や映像コンテンツなどを用いて、どのように過去が描かれているのか、歴史的な正確さを追求することができるのか、過去に対する意見や解釈をどの程度提示するのかについて学び、20世紀のアジアの歴史を、その時代や描かれている場所からひもときながら、理解することを目標とする。</p>	
		Topics in Art II	<p>This course is positioned as an advanced course of Topics in Art I. The goal of this course is to study a wide range of visual and performing arts, literature, animation, and film. The course will also explore the significance of the female figure in Japanese art and discuss the production of the most important Japanese female artists.</p> <p>清少納言から草間彌生、美人画から舞妓まで、日本の女性芸術家たちは、その優れた技術だけでなく、問題提起の適切さにおいても国内外で賞賛され、評価されている。本科目は、Topics in Art Iの発展的な科目として位置づけられ、視覚芸術、舞台芸術、文学、アニメ、映画を幅広く学修することを目標とする。また、日本の芸術における女性像の意義を探り、日本の女性芸術家の制作などについてのテーマを設定し、議論を行う。</p>	
		Media and Culture A	<p>The goal of this course is to study the structure and development of Japanese popular media from pre-modern to modern times. Specifically, the course will focus on how popular media have been instrumental in addressing various social issues and historical transitions. The course will also analyze the structure of the Japanese publishing and television industries and discuss how they have dealt with various social issues such as the dangers of nuclear power, treatment of the disabled, the death penalty, LGBT rights, Japan-Korea relations, and discrimination against Koreans living in Japan.</p> <p>本科目は、前近代から現代までの日本のポピュラーメディアの構造と発展について学修することを目標とする。具体的には、様々な社会問題や歴史の変遷に対処する上で、ポピュラーメディアがどのように役立ってきたかに注目して学修する。また、日本の出版業界とテレビ業界などのメディア構造を分析し、様々な社会問題をどのように扱ってきたかについても学修する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	H u m a n i t i e s 科 目 群	Media and Culture B	<p>The goal of this course is to provide a broad study of literature, art, film, comics, animation, and other popular media. In this course, religious, social, and political uses of the supernatural in popular media will also be discussed. Moreover, students are expected to learn how monsters, ghosts, and other products of the popular imagination have symbolized and personified the problems, hopes, and fears of the Japanese people from pre-modern to modern times, facilitating their search for meaning and identity.</p> <p>本科目は、文学、芸術、映画、マンガ、アニメ、その他の大衆メディアについて幅広く理解することを目標とする。大衆メディアにおける宗教的、社会的、政治的な利用について学修する。また、妖怪や幽霊などの大衆的な想像力の産物が、前近代から現代に至るまで、どのように日本人の問題、希望、恐怖を象徴化、擬人化し、意味やアイデンティティの探求を促進してきたのかについても学修する。</p>	
		Religion and Philosophy	<p>The goal of this course is to study representative expressions of religion in Japan. Also, ancestor worship, Shinto, Buddhism, and new religions will be covered, focusing on contemporary beliefs and practices, especially those encountered on a daily basis, and discussing various approaches to the interpretation of religion. Moreover, students are expected to examine fox deities, the Yasukuni Shrine controversy, Tenrikyo, the Soka Gakkai, Buddhist heaven and hell, Buddhist Pure Land, and aborted fetus rituals.</p> <p>本科目は、日本における代表的な宗教表現を理解することを目標とする。祖先崇拜、神道、仏教、新宗教を取り上げ、現代の信仰や実践、特に日常的に遭遇する宗教に焦点を当て、宗教の解釈に対する様々なアプローチについて学修する。また、狐神、靖国神社論争、天理教、仏教の天国と地獄、極楽浄土などについても学修する。</p>	
		Seminar in Philosophy	<p>The goal of this course is to study the characteristics of historical Japanese warriors and the composition of the Japanese combatant's worldview. Specifically, the course will analyze and discuss typical warriors who fight exemplary battles using typical weapons through famous literature, movies, and historical accounts.</p> <p>日本の武士のイメージは、東アジアの歴史の中で、また武士とは何かという一般的な感情の中で、様々な形で現れている。日本では、ときに武術や軍隊において「道」や「道理」として表現され、このような規律が技術的なスキルに還元されるものではなく、イデオロギーを表すものであることを意味している。本科目は、文学作品や映画、歴史的な記述を通して、歴史上の日本の武士の特徴や、その世界観の構成について理解することを目標とする。</p>	
		Seminar in Religion	<p>Shinto, an ancient Japanese religion, is an important part of the Japanese cultural imagination and can be seen everywhere. The goal of this course is to provide a broad study of Shinto. Students will examine Shinto from as many perspectives as possible--religious, philosophical, anthropological, political, etc.--and explore Shinto in Japan today.</p> <p>日本の古代宗教である神道は、日本の精神文化の重要な部分を占め、一般生活に身近なものとなっている。本科目は、神道について幅広く学び、宗教的、哲学的、人類学的、政治的など、可能な限り多くの視点から神道を学修し、今日の日本における神道について探求することを目標とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要					
(国際共生学部国際共生学科)					
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
専 門 選 択 科 目	H u m a n i t i e s 科 目 群	Japanese	<p>The goal of this course is to acquire practical skills focusing on speaking and listening in Japanese. Specifically, the main goal is to improve speaking and listening skills, with the aim of acquiring a vocabulary of at least 300 words. By the end of the course, students will be able to use the vocabulary in everyday situations such as making requests, giving reasons, and explaining things, as well as expressing their own opinions, sharing their experiences and giving advice, and learning a wide range of basic and advanced conversational expressions in Japanese. In addition, students will aim to master more than 70 kanji characters.</p> <p>本科目は日本語の話す、聞くを中心とした実践力を身につけることを目標とする。具体的には、主に話す・聞く能力の向上を目指し、300以上の語彙と70以上の漢字の習得を目標とする。依頼をする、理由を述べる、物を説明するなど、日常的な場面での活用に加え、自分の意見を述べたり、経験談やアドバイスをするなど、日本語での基本的な表現から発展的な会話まで幅広く学ぶ。</p>		
		Japanese Reading & Writing	<p>The goal of this course is to develop the ability to read and write Japanese. Students will acquire the ability to read a wide range of texts, from simple content to journals and newspapers, as well as vocabulary. The course also aims to improve students' writing skills by acquiring more than 150 Kanji characters.</p> <p>本科目は、日本語の読み書きの能力を身につけることを目標とする。シンプルな内容のものからジャーナル、新聞といった幅広い分野の文章を読む力や語彙力を身につけることを目標とする。合わせて、150以上の漢字を習得し、文章作成力の向上もめざす。</p>		
	S o c i a l S c i e n c e s 科 目 群	Survey in International Politics	<p>This course is positioned as an introduction to the history of international politics, with the goal of providing a broad overview of international politics since 1900. Specifically, the major trends in world politics from the preparatory stages of World War I through the end of the Cold War and the post-Cold War era will be discussed, with a specific regional focus on Asia and the ideological innovations and conflicts that have shaped international politics since the last century.</p> <p>本科目は、国際政治史の導入科目として位置づけられ、1900年以降の国際政治について幅広く理解することを目標とする。具体的には、第一次世界大戦の準備段階から冷戦の終結、冷戦後の時代までの世界政治の主要な動向を、アジアに焦点を当てて前世紀以降の国際政治を形成したイデオロギーの革新と対立について学修する。</p>		
		Introduction to Cultural Anthropology	<p>This course is positioned as an introduction to cultural anthropology. It aims to understand "what culture is," "how it affects both societies and individuals," "how anthropologists study culture," and "how cultural anthropology can be applied to important social issues and everyday life." The course also draws on cross-cultural examples from Africa, Asia, Australia, and the United States to explore different cultures, practices, perspectives, and theories to help students learn about the world in general and their own culture and society in particular.</p> <p>本科目は、文化人類学の導入科目として位置づけられる。「文化とは何か」、「それは社会と個人の両方にどのような影響を与えるのか」、「人類学者はどのようにして文化を研究するのか」、「文化人類学は重要な社会問題や日常生活にどのように適用できるのか」について学ぶ。また、世界各地から異文化の例を引用し、異なる文化、慣習、視点、理論を探究することで、世界全般、特に自身の文化や社会について深掘し、自己を認識することを目標とする。</p>		

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	S o c i a l S c i e n c e s 科 目 群	Survey in Sociology	<p>This course is positioned as an introduction to sociology. The goal is to learn the basics of social theory and empirical research and to develop what Mills calls "the sociological imagination." The course will examine the classical theoretical traditions of Marx, Durkheim, Weber, and Simmel, as well as their contemporary successors and common sense assumptions about culture, politics, history, and psychology. The course will also emphasize the acquisition of reading, writing, and critical thinking skills in the literature, laying the foundation for a deeper understanding of the theory and methods of the social sciences.</p> <p>本科目は、社会学の導入科目として位置づける。社会理論や実証研究の基礎を学び、「社会学的想像力」を身につけることを目標とする。マルクス、デュルケム、ウェーバー、ジンメルなどの理論的伝統と、それらの現代的な後継者や、文化、政治、歴史、心理学に関する常識的な仮定を検証する。また、文献の読解力や文章作成力、批判的思考力の習得にも重点を置き、社会科学の理論と方法をより深く理解するための基礎を築くことを目標とする。</p>
		Foreign Policy	<p>The goal of this course is to gain basic understandings of traditional theories of international politics. With "who makes the decisions in international politics?" in mind, the course will examine the evolution of foreign policy analysis and how it can be applied to explain real-world cases, particularly those in Asia.</p> <p>政治は決断がすべてであり、国際政治もその例外ではない。本科目は、伝統的な国際政治学の理論について学ぶことを目標とする。「国際政治において意思決定を行うのは誰なのか」を念頭に置き、外交政策分析の進歩を理解し、それを実際の事例、特にアジアの事例の説明にどのように適用できるかについて検証する。</p>
		International Politics	<p>This course provides insight into the sources of state behavior and prospects for stability and instability in the region, and examines how history and politics have shaped security in East Asia. The course will focus on the changing economic and military status of China, Japan, Taiwan, Vietnam, the Philippines, Malaysia, Indonesia, North Korea, and South Korea as the basis for tensions between these countries.</p> <p>本科目は、国家の行動の源と、地域の安定性と不安定性の見通しについて洞察し、歴史と政治は、東アジアの安全保障をどのように形成してきたのかを学修する。中国、日本、台湾、ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア、北朝鮮、韓国が経済的・軍事的地位の変化に伴い、緊張関係の基盤となっていることなどに注目して学ぶ。</p>
		Global Service Learning	<p>The goal of this course is to learn about the role of service learning in multicultural society. In addition, by integrating lectures and experiential learning, students are expected to learn about the issues faced by global societies from theoretical and practical perspectives to resolve any social problems.</p> <p>本科目は、多文化共生におけるサービス・ラーニングの役割について学ぶ。講義と体験学習を融合させ、グローバル社会が抱える弊害や課題について、理論と実践の観点から総合的に理解することを目標とする。</p>

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	S o c i a l S c i e n c e s 科 目 群	Comparative Politics I	<p>The goal of this course is to teach the fundamentals of the concept of international politics, including the formation and characteristics of sovereign states. The course will examine how to approach contemporary issues using modern methodological tools (econometrics, game theory, agent-based computing models, etc.) and explanations. Students will also explore and discuss issues related to the empirical and theoretical causes and consequences of democracy and autocracy.</p> <p>本科目は、主権国家の成立や特徴など、国際政治学の考え方の基礎について理解することを目標とする。現代の方法論的ツール（計量経済学、ゲーム理論、エージェントベース・コンピューティングモデルなど）や説明を用いて、現代の問題にどのようにアプローチするかを検証する。また、民主主義と独裁主義の経験的・理論的な原因と結果に関する問題を掘り下げ議論する。</p>	
		Global Diplomacy and Asia	<p>The goal of this course is to study the major historical developments in global diplomacy since the 19th century and their impact on East Asia. Specifically, the course will analyze major diplomatic strategies such as balance of power, appeasement, deterrence, and containment among states, and examine aspects of decision-making in international crises. The course will also analyze the impact of history on international relations in East Asia today.</p> <p>本科目は、19世紀以降のグローバル外交の主要な歴史的展開と、その東アジアへの影響について理解することを目標とする。具体的には、国家間の力の均衡、宥和、抑止、封じ込めなどの主要な外交戦略を分析し、国際的な危機における意思決定の側面を学修する。また、今日の東アジアの国際関係に歴史が与える影響についても分析する。</p>	
		History of International Politics	<p>The goal of this course is to study the history of the Asia-Pacific region in the 20th century. How different international systems rose and fell will be examined by analyzing the interconnectedness of China, Japan, Korea, Russia, and the United States. Students will also discuss the major sources of the foreign policies of the countries involved in these regions: the role played by central decision makers, the domestic political context, and the constraints and opportunities provided by the international environment.</p> <p>本科目は、20世紀のアジア太平洋地域の歴史について理解することを目標とする。異なる国際システムがどのように勃興し、どのように衰退していったのかを、中国、日本、韓国、ロシア、米国の相互連結関係を分析し学修する。さらに、これらの地域に関わる国々の外交政策の主要な源泉、すなわち、中央の意思決定者が果たした役割、国内の政治的背景、国際的な環境が提供する制約と機会についても学修する。</p>	
		Cultural Anthropology	<p>This course is positioned as an advanced course for Introduction to Cultural Anthropology. Students will learn how people, culture, technology, goods and services, money, religion, and ideology move across porous borders from a cultural anthropological perspective, causing immediate and intense contact. Students will also discuss how this cultural contact affects people across the globe.</p> <p>本科目は、Introduction to Cultural Anthropologyの発展的な科目として位置づけられる。文化人類学の観点で人々、文化、技術、商品やサービス、お金、宗教、イデオロギーが、どのように国境を越えて移動し、激しい接触を引き起こしているかを理解することを目標とする。また、この文化的な接触が、どのように地球上の人々に影響を与えているかについて学修する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専門選択科目	S o c i a l S c i e n c e s 科 目 群	Topics in Sociology	<p>This course is positioned as an advanced course for Surveys in Sociology. The goal is to learn and discuss how issues facing global society are projected through analysis of various media such as newspapers, journals, and the English language.</p> <p>本科目は、Surveys in Sociologyの発展科目として位置づけられる。新聞やジャーナル、英語など、様々なメディアを分析しながらグローバル社会が抱える課題についてどのように投影されているかを学び、個々の学生が論理的かつ建設的な意見を異国の学生と対等に議論できるようになることを目標とする。</p>	
		Comparative Politics II	<p>This course is positioned as an advanced course of Comparative Politics I. Based on the theme of "Do Asian countries really prefer strong authoritarian leadership?", this course aims to cultivate new perspectives on the prospects for democracy in Asia, using case studies of China, Hong Kong, Singapore, Thailand, and the Philippines. Through these case studies, the symptoms and causes of authoritarianism in Asia will also be discussed from multiple perspectives.</p> <p>本科目は、Comparative Politics Iの発展的な科目として位置づけられる。政治に関する特定のテーマを基に、ケーススタディを用いて、アジアにおける民主主義の展望について新たな視点を養成することを目指す。また、これらのケーススタディを通して、アジアにおける権威主義の症状と原因を多角的に学修する。</p>	
		Globalization and Identity	<p>This course examines the contemporary globalization debate from a historical perspective, examining how East Asian nations relate to each other and to the world. Specifically, the course will focus on how globalization has affected the formation of culture and identity among East Asian nations, and examine the ways in which East Asian communities interact and exchange ideas, cultures, and material goods.</p> <p>本科目は、現代のグローバリゼーションの議論を歴史的観点から、東アジアの国家が相互に、そして世界とどのような関係を築いているかを理解することを目標とする。具体的には、グローバリゼーションが東アジア諸国の文化やアイデンティティの形成にどのような影響を与えているかに焦点を当て、東アジアのコミュニティがどのような方法で交流し、アイデアや文化、物質的な商品を交換しているかを学修する。</p>	
		International Organizations	<p>The goal of this course is to learn about social initiatives and issues that encourage multiculturalism. Students will learn about international organizations involved in the development of a sustainable multicultural society through case studies and group work.</p> <p>本科目は、多文化共生を推奨するための社会的な取り組みや、課題について理解することを目標とする。持続可能な多文化社会の発展に携わる国際機関について、ケーススタディやグループワークを通して学ぶ。</p>	
		Sustainable Development A	<p>The goal of this course is to provide students with the knowledge necessary to realize a sustainable society, including the mechanisms and initiatives of the Sustainable Development Goals (SDGs) set forth by the United Nations Headquarters.</p> <p>本科目は、国連本部が打ち出したSustainable Development Goals (SDGs)の仕組みや取り組みなど、持続可能な社会を実現するために必要な知識を身につけることを目標とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
S o c i a l S c i e n c e s 科 目 群	Sustainable Development B	<p>The goal of this course is to understand the characteristics of social policies and to acquire the basic knowledge necessary for policy making. Specifically, students will analyze the process of social policy formation and explore its characteristics through case analysis and group work.</p> <p>本科目は、社会的な政策の特性を理解し、政策立案に必要な基礎的な知識を習得することを目標とする。具体的には、事例分析やグループワークを通して、社会政策形成過程を分析し、その特徴を学修する。</p>	
	Comparative Cultures	<p>The goal of this course is to learn how the Cool Japan (Nichi-ryu) and Hallyu (Hanryu) movements have brought about changes in the global mass media and popular culture markets. Students will gain an understanding of the theoretical basis for addressing the cultural and social principles of the globalization of the pop culture and cultural industries, and deepen their understanding by analyzing manga/anime, J-pop, J-drama, K-pop, K-drama, etc. as case studies.</p> <p>本科目は、日本や韓国の大衆文化（いわゆるクールジャパンや韓流）のムーブメントが、世界のマスメディアや大衆文化市場にどのような変化をもたらしたかについて理解することを目標とする。ポップカルチャー産業、文化産業のグローバル化の文化的・社会的原理の理解に寄与する理論的基盤について、ケーススタディとして、マンガ・アニメ、J-POP、J-ドラマ、K-POP、K-ドラマなどの分析をおして理解を深める。</p>	
専 門 選 択 科 目 B u s i n e s s & E c o n o m i c s 科 目 群	Introduction to Marketing	<p>This course is positioned as an introduction to the fundamentals of marketing. Students will understand the principles of creating value for customers, building and managing strong and profitable customer relationships, the nature of consumer markets, the role of strategic marketing plans, and the marketing mix of product, price, place, and promotion. Students will also apply marketing principles to contemporary cases/businesses and analyze the marketing plans of Japanese companies' products.</p> <p>本科目は、マーケティングの基礎を学ぶための導入科目として位置づけられる。顧客のために価値を創造し、強固で収益性の高い顧客関係を構築・管理するための原則を理解し、消費者市場の性質、戦略的なマーケティング計画の役割、製品、価格、場所、プロモーションのマーケティングミックスについて学ぶ。また、マーケティングの原則を現代のケース/ビジネスに適用し、日本企業の製品のマーケティングプランを分析する。</p>	
	Introduction to Microeconomics	<p>This course is positioned as an introductory course to acquire basic knowledge of microeconomics. Using microeconomic analysis, the course will address a wide range of issues such as "How are prices of goods and services determined in the market?", "What drives the market and is the market efficient?", "What are the true costs of the tax system?", "What is the optimal production level for firms?", "How are wages and earnings determined?"</p> <p>本科目は、ミクロ経済学の基礎知識を身につけるための導入科目として位置づけられる。ミクロ経済学的な分析を用いて、「商品やサービスの価格は市場でどのように決定されるのか」「何が市場を動かし、市場は効率的か」「税制の真のコストは何か」「企業にとっての最適な生産水準とは何か」「賃金や収益はどのようにして決まるのか」など、幅広い問題を学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	B u s i n e s s & E c o n o m i c s 科 目 群	Introduction to Macroeconomics This course is positioned as an introduction to the fundamentals of macroeconomics. The goal of the course is to understand about important economic theories and concepts that can be used to understand economic events and questions using macroeconomic analysis. Movements in important aggregate economic variables such as national income, unemployment, inflation, interest rates, and economic growth will be analyzed, and the impact of government monetary and fiscal policies on national income, economic growth, and inflation will be also discussed. 本科目は、マクロ経済学の基礎知識を身につけるための導入科目として位置づけられる。マクロ経済学的な分析を用いて経済的な出来事や疑問を理解するための重要な経済理論や概念について理解することを目標とする。国民所得、失業率、インフレ率、金利、経済成長などの重要な経済総計の動きを分析し、政府の金融・財政政策が国民所得、経済成長、インフレに与える影響についても学修する。	
		Principles of Business This course is positioned as an introduction to the fundamentals of business administration. Focusing on the importance of international business and the global marketplace, the goal is to understand broad principles and identify areas of particular interest. The course will also identify the relationships between the various disciplines in management and discuss how successful organizations combine marketing, economics, human resources, ethics, and business strategy in order to compete in the global marketplace. 本科目は、経営学の基礎知識を身につけるための導入科目として位置づけられる。国際ビジネスの重要性とグローバル市場に焦点を当て、大まかな原理を理解することを目標とする。また、経営におけるさまざまな専門分野の関係性を明らかにし、成功している組織がグローバル市場で競争するために、マーケティング、経済、人事、倫理、経営戦略をどのように組み合わせているのかについても学修する。	
		Global Economics The goal of this course is to gain a basic understanding of international economics. The course will identify the causes and benefits of international trade and money, and will discuss such questions as "Why do goods, services, and money move across borders?" and "Do people benefit from the international movement of goods, services, and money, and if so, what benefits do they receive?" 本科目は、国際経済学の基礎知識を身につけるための導入科目として位置づけられる。「なぜ、モノやサービス、そしてお金が国境を越えて移動するのか」、「モノやサービス、お金の国際的な移動によって、人々は恩恵を受けているのか、受けているとしたら、どのような恩恵を受けているのか」などについて、国際貿易とお金の原因と利益について学修する。	
		Economic Development I The goal of this course is to examine the local/regional dynamics of East Asian urban landscapes, focusing on the dynamics of global change, and to learn about current urban challenges and prospects. Emphasis will also be placed on the city as a site of everyday life and socioeconomic change, with discussions on urban socio-spatial exclusion, gentrification, urban peripheralization, and environmental sustainability. 本科目は、グローバルな変化の原動力に注目しつつ、東アジアの都市景観のローカル/地域的なダイナミクスを検証し、現在の都市の課題と展望について理解することを目標とする。また、日常生活の場、社会経済的変化の場としての都市に重点を置き、ジェントリフィケーション、環境の持続可能性などについても学修する。	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	B u s i n e s s & E c o n o m i c s 科 目 群	Global Marketing	<p>The goal of this course is to learn about cross-cultural marketing with a focus on Asia. Specifically, students will learn the role of diversity in the global marketplace and the importance of local consumer knowledge and marketing techniques. The cross-cultural approach will also include a comparison of marketing systems and local business practices in different countries.</p> <p>本科目は、世界市場における多様性の役割と、現地の消費者の知識やマーケティング手法の重要性を学ぶ。アジアに焦点を当て、各国のマーケティングシステムや地域の商習慣の比較・検証ができるようになることを目標とする。</p>	
		Economic Development II	<p>This course is positioned as an advanced course for Economic Development I. The goal of this course is to study topics related to the cultural and creative industries in Japan/East Asia. Discussion will be based on an interdisciplinary approach, including cultural economics, political economy, sociology, and urban planning studies.</p> <p>本科目は、Economic Development Iの発展科目として位置づけられる。日本や東アジアの文化・クリエイティブ産業（映像・舞台芸術、広告、工芸、デザイン、映画、マルチメディア、出版、ゲームなど）は、世界的な競争力と経済成長のベクトルとして広く注目されているが、その無数の特徴、ダイナミクス、および課題はほとんど把握されていないのが現状である。本科目では、日本や東アジアの文化・クリエイティブ産業に関連するトピックについて理解することを目標とし、文化経済学、政治経済学、社会学、都市計画学などの学際的なアプローチを用いて学修する。</p>	
		Global Management	<p>This course is designed to provide traditional management theories and principles in the areas of planning, organizing, leading and controlling, discuss management innovations to better meet the needs of 21st century organizations, and examine how cultural values and beliefs influence communication, decision-making, leadership, planning, and organization. In addition this course will also look at Japanese management philosophies that have been taken up by businesses around the world.</p> <p>あらゆる組織において、計画、組織化、指導、統制といったマネジメント機能が働いている。本科目では、これらの分野における伝統的なマネジメントの理論と原則について学ぶ。21世紀の組織のニーズをより満たすためのマネジメントの革新について学修し、文化的な価値観や信念が、コミュニケーション、意思決定、リーダーシップ、プランニング、組織構造などのマネジメント手法をどのように形成しているのかを理解することを目標とする。</p>	
		Topics in Management	<p>In this course, students will explore general aspects of management in Japanese companies, compare them to those in the West, explore the experiences of foreign and Japanese leaders in Japan, and aim to equip foreign leaders with the skills they need to succeed in Japanese organizations. The challenges facing Japanese management styles in an increasingly globalized society will also be discussed.</p> <p>マネジメントとリーダーシップの研究は、科学と神話、能力と偶然性を語ると同じく両者を切り離すことが難しいテーマである。本科目では、日本企業におけるマネジメントの一般的な側面を探り、欧米のそれと比較し、日本における外国人と日本人のリーダーの経験を探り、外国人リーダーが日本の組織で成功するために必要なスキルを身につけることを目標とする。またグローバル化が加速する社会で日本の経営スタイルが直面する課題についても学修する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	B u s i n e s s & E c o n o m i c s 科 目 群	International Business	<p>The goal of this course is to provide students with an understanding of international business. Students will discuss why companies do international business, how companies choose their overseas locations, and how to evaluate the benefits and risks of international business activities. Students are also expected to become experts on the cultural, political, legal, and economic factors involved in doing business in various Asian countries, and to explore the strategic and managerial aspects of doing business internationally through case studies.</p> <p>本科目は、国際ビジネスに関する基礎を理解することを目標とする。企業がなぜ国際ビジネスを行うのか、企業がどのように海外拠点を選択するのか、国際ビジネス活動のメリットとリスクをどのように評価するのかなどを学修する。また、アジアの様々な国でビジネスを行う際の文化的、政治的、法的、経済的要因について、事例研究を通して国際的なビジネスを行う上での戦略的・経営的側面を探求する。</p>	
		Topics in Japanese Business	<p>The goal of this course is to learn about Japanese industry and business practices. This course will address: How have Japanese business practices and industries evolved? How have prewar and postwar government economic policies, industrial structures, and cultural influences shaped Japanese industries and business practices? Students will also trace cultural factors and historical changes, and discuss the future of Japanese companies through case studies of innovative firms such as Recruit and Softbank. The course will also touch on typical Japanese companies, cultural business terminology, and etiquette for students who wish to work in Japan/Japan-related companies in the future.</p> <p>本科目は、日本の産業やビジネス慣行について理解することを目標とする。日本の商習慣や産業はどのように進化してきたのだろうか。また、戦前・戦後の政府の経済政策、産業構造、文化的な影響は、日本の産業やビジネス慣行をどのように形成してきたのだろうか。文化的要因や歴史的变化を追跡し、革新的な企業の事例研究を通して、日本企業の将来について学修する。また、将来、日本/日本関連の企業でも働くことを想定し、日本企業の文化、日本特有のビジネス用語やビジネスマナー、エチケットなどについても学修する。</p>	
		International Negotiation	<p>The goal of this course is to learn about the importance of negotiation and to acquire effective negotiation skills. In addition, through collaborative learning with diverse students, this course will also look at the impact of culture on the negotiation process and the outcome of negotiations.</p> <p>本科目は、国際企業が日本でビジネスを展開する際、どのような交渉戦略を用いているか、交渉の重要性について学び、効果的な交渉スキルを習得することを目標とする。さらに、多様な学生との共同学習を通して、文化が交渉のプロセスや交渉の結果に与える影響についても学修する。</p>	
		Global Leadership	<p>The goal of this course is to make demonstrable progress toward becoming a more effective leader. Through a variety of activities, including an examination of leadership in organizations and in-class projects and presentations, the course aims to improve students' self-awareness and acquisition of effective leadership skills.</p> <p>本科目は、より有能なリーダーになるために実証可能な進歩を遂げることを目標とする。組織におけるリーダーシップの検証やクラス内でのプロジェクトやプレゼンテーションなど、さまざまなアクティビティを通して、学生の自己認識の向上と、効果的なリーダーシップ能力の習得をめざす。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(国際共生学部国際共生学科)				
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
専 門 選 択 科 目	G l o b a l I s s u e s 科 目 群	Global Issues A	<p>This course is positioned as a study abroad preparatory course for the study of the humanities at the host university. In the case that students take a humanities course at the host university, academic credits as "Global Issues A" will be granted based on the number of class hours, and grades at the host university.</p> <p>本科目は、留学先大学における人文科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において人文科学系の科目を修得し、当該科目が本学部の「Humanities科目群」に開設されていない場合に、「Global Issues A」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。</p>	
		Global Issues B	<p>This course is positioned as a study abroad preparatory course for the study of the social sciences at the host university. In the case that students take a social sciences course at the host university, academic credits as "Global Issues B" will be granted based on the number of class hours, and grades at the host university.</p> <p>本科目は、留学先大学における社会科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において社会科学系の科目を修得し、当該科目が本学部の「Social Science科目群」に開設されていない場合に、「Global Issues B」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。</p>	
		Global Issues C	<p>This course is positioned as a study abroad preparatory course for the study of the social sciences at the host university. In case that students take a social sciences course at the host university, academic credits as "Global Issues C" will be granted based on the number of class hours, and grades at the host university.</p> <p>本科目は、留学先大学における社会科学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学において社会科学系の科目を修得し、当該科目が本学部の「Social Science科目群」に開設されていない場合に、「Global Issues C」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。</p>	
		Global Issues D	<p>This course is positioned as a study abroad preparatory course for the study of the business & economics at the host university. In the case that students take a business/economics course at the host university, academic credits as "Global Issues D" will be granted based on the number of class hours, and grades at the host university.</p> <p>本科目は、留学先大学におけるビジネス・経済学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてビジネス・経済学系の科目を修得し、当該科目が本学部の「Business & Economics科目群」に開設されていない場合に、「Global Issues D」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。</p>	
		Global Issues E	<p>This course is positioned as a study abroad preparatory course for the study of the business & economics at the host university. In the case that students take a business/economics course at the host university, academic credits as "Global Issues E" will be granted based on the number of class hours, and grades at the host university.</p> <p>本科目は、留学先大学におけるビジネス・経済学系の学修を念頭に、その準備教育科目として位置付ける。本科目を履修することなく留学先大学においてビジネス・経済学系の科目を修得し、当該科目が本学部の「Business & Economics科目群」に開設されていない場合に、「Global Issues E」として単位認定を行う。留学先大学における講義、演習内容、授業時間数、成績などを学生ごとに、さらには科目ごとに個別に勘案した上で単位認定を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	E x p e r i e n t i a l L e a r n i n g 科 目 群	Global Internship A In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the internship. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. One credit is awarded for work experience in Japan or abroad from more than 30 hours to less than 60 hours. 本科目は、国内外での就労体験30時間以上60時間未満の活動に対して1単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、インターンシップの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。	
		Global Internship B In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the internship. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Two credits are awarded for work experience in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours. 本科目は、国内外での就労体験60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、インターンシップの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。	
		Global Internship C In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the internship. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Two credits are awarded for work experience in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours. 本科目は、国内外での就労体験60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、インターンシップの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。	
		Global Internship D In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the internship. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Five credits are awarded for work experience in Japan or abroad from more than 150 hours to less than 180 hours. 本科目は、国内外での就労体験150時間以上180時間未満の活動に対して5単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、インターンシップの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。	

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	E x p e r i e n t i a l L e a r n i n g 科 目 群	Community Engagement A	<p>In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the volunteer activities. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. One credit is awarded for volunteer activities in Japan or abroad from more than 30 hours to less than 60 hours.</p> <p>本科目は、国内外でのボランティア30時間以上60時間未満の活動に対して1単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、ボランティアの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。</p>
		Community Engagement B	<p>In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the volunteer activities. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Two credits are awarded for volunteer activities in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours.</p> <p>本科目は、国内外でのボランティア60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、ボランティアの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。</p>
		Community Engagement C	<p>In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the volunteer activities. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Two credits are awarded for volunteer activities in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours.</p> <p>本科目は、国内外でのボランティア60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、ボランティアの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。</p>
		Community Engagement D	<p>In this course, prior to the activities, students will participate in the guidance to deepen understanding of the significance and purpose of the volunteer activities. After the activities, the student's understanding of learning will be confirmed through reflective learning, leading to future learning. Five credits are awarded for volunteer activities in Japan or abroad from more than 150 hours to less than 180 hours.</p> <p>本科目は、国内外でのボランティア150時間以上180時間未満の活動に対して5単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、ボランティアの意義や目的について理解を深める。また、活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。</p>

授 業 科 目 の 概 要			
(国際共生学部国際共生学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 選 択 科 目	E x p e r i e n t i a l L e a r n i n g 科 目 群	Global Service Learning A	In this course, students will participate in the guidance to understand the significance and purpose of service-learning and to develop their awareness as a member of global citizens. After the activity, students' understanding of their learning will be checked through a review study, which will lead to future learning. One credit is awarded for service learning in Japan or abroad from more than 30 hours to less than 60 hours. 本科目は、国内外でのサービス・ラーニング30時間以上60時間未満の活動に対して1単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、サービス・ラーニングの意義や目的について理解を深めるほか、地球市民の一員としての意識を高める。活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。
		Global Service Learning B	In this course, students will participate in the guidance to understand the significance and purpose of service-learning and to develop their awareness as a member of global citizens. After the activity, students' understanding of their learning will be checked through a review study, which will lead to future learning. Two credits are awarded for service learning in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours. 本科目は、国内外でのサービス・ラーニング60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、サービス・ラーニングの意義や目的について理解を深めるほか、地球市民の一員としての意識を高める。活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。
		Global Service Learning C	In this course, students will participate in the guidance to understand the significance and purpose of service-learning and to develop their awareness as a member of global citizens. After the activity, students' understanding of their learning will be checked through a review study, which will lead to future learning. Two credits are awarded for service learning in Japan or abroad from more than 60 hours to less than 120 hours. 本科目は、国内外でのサービス・ラーニング60時間以上120時間未満の活動に対して2単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、サービス・ラーニングの意義や目的について理解を深めるほか、地球市民の一員としての意識を高める。活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。
		Global Service Learning D	In this course, students will participate in the guidance to understand the significance and purpose of service-learning and to develop their awareness as a member of global citizens. After the activity, students' understanding of their learning will be checked through a review study, which will lead to future learning. Five credits are awarded for service learning in Japan or abroad from more than 150 hours to less than 180 hours. 本科目は、国内外でのサービス・ラーニング150時間以上180時間未満の活動に対して5単位を付与する。 活動前には事前指導を行い、サービス・ラーニングの意義や目的について理解を深めるほか、地球市民の一員としての意識を高める。活動後は振り返り学習を通して学生の学びの理解について確認し、今後の学習に繋げる。

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が40人を超えることを想定するものについては、その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

学校法人 関西外国語大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由																
関西外国語大学				→	関西外国語大学																				
3年次					3年次																				
英語キャリア学部					英語キャリア学部																				
英語キャリア学科	150	—	600		英語キャリア学科	<u>170</u>	—	<u>680</u>																	
<table style="border: 1px solid black; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;">英語キャリア学科</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">120</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">—</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">480</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">英語キャリア学科 小学校教員コース</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">30</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">—</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">120</td> </tr> </table>				英語キャリア学科	120	—	480	英語キャリア学科 小学校教員コース	30	—	120		<table style="border: 1px solid black; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="padding: 2px;">英語キャリア学科</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">120</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">—</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">480</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">英語キャリア学科 小学校教員コース</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><u>50</u></td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">—</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><u>200</u></td> </tr> </table>				英語キャリア学科	120	—	480	英語キャリア学科 小学校教員コース	<u>50</u>	—	<u>200</u>	定員変更(20)
英語キャリア学科	120	—	480																						
英語キャリア学科 小学校教員コース	30	—	120																						
英語キャリア学科	120	—	480																						
英語キャリア学科 小学校教員コース	<u>50</u>	—	<u>200</u>																						
3年次					3年次																				
外国語学部					外国語学部																				
英米語学科	1,170	300	5,280		英米語学科	<u>865</u>	300	<u>4,060</u>	定員変更(△305)																
スペイン語学科	250	25	1,050		スペイン語学科	250	25	1,050																	
英語・デジタルコミュニケーション学科					英語・デジタルコミュニケーション学科				学科の設置 (届出)																
						<u>200</u>	<u>0</u>	<u>800</u>																	
3年次					3年次																				
英語国際学部					英語国際学部																				
英語国際学科	700	100	3,000		英語国際学科	700	100	3,000																	
3年次					3年次																				
国際共生学部					国際共生学部				学部の設置 (届出)																
国際共生学科					国際共生学科	<u>70</u>	<u>30</u>	<u>340</u>																	
計	2,270	425	9,930		計	<u>2,255</u>	<u>455</u>	9,930																	
関西外国語大学大学院				→	関西外国語大学大学院																				
外国語学研究科					外国語学研究科																				
英語学専攻(M)	15	—	30		英語学専攻(M)	15	—	30																	
言語文化専攻(M)	20	—	40		言語文化専攻(M)	20	—	40																	
英語学専攻(D)	3	—	9		英語学専攻(D)	3	—	9																	
言語文化専攻(D)	3	—	9		言語文化専攻(D)	3	—	9																	
計	41		88		計	41		88																	
関西外国語大学短期大学部				→	関西外国語大学短期大学部																				
英米語学科					英米語学科																				
	800		1,600			800		1,600																	
計	800		1,600		計	800		1,600																	